

2019年度 認定こども園 手宮幼稚園 学校関係者評価委員会

結果報告

日 時 2020年2月26日(水)午後6時からの予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言を受け、書面での会議といたしました。

評価委員 谷本 慎司さま(小樽市立手宮中央小学校校長)
阿部美也子さま(手宮地区主任児童委員)
北川 和子さま(手宮地区主任児童委員)
北嶋 省三さま(梅ヶ枝町町内会長)

幼稚園 園 長 泉田しのぶ
主 任 櫻井麻実
運営委員 折登紀子

本日の次第

1. 手宮幼稚園2019年度活動・教育理念概要について
 - (1)今年度活動報告概要
 - (2)手宮幼稚園の教育理念
2. 自己評価結果報告
 - (1)保護者アンケート結果報告
 - (2)保育者自己評価結果報告

結果報告を受け評価委員会の皆様よりご意見を頂きました。

- 保護者アンケート、自己評価の結果から園児・保護者と利用降な関係を築いていることがわかりました。
- 自己評価Ⅲの項目では、共通理解・実践が大切なことは、当たり前ですが学校も幼稚園も変わらないものと感じます。特に、今後大きな世代交代が進む中では経験者から新任者への伝承が大切になるように思います。
- 自己評価Ⅳの項目では、学校も安全・安心メールやHPを使って情報を発信していますがねその発信のあり方については、同じく悩むところですが保護者の要望に応えることは大切な反面、闇雲に発信することが良いのか?と考えどころのような気がします。

- 保護者と保育者との子育ての統一感の問題では、フェイス to フェイスでコミュニケーションを取ることが必要に思います。
- 小・幼・保の連携も無理の無い交流も進めていければと思います。
- 保育に当たられる皆様が、ともに目標に向け、チームワークを大切にされ、各子ども達の発達状態に即して、真摯に取り組まれていることを強く感じました。
- 子ども達の個々の成長は、園と言う集団の成長と不可分を考えます。幼少期の発達状態は、他の時期と比較しても個人差が大きく、保育と教育の両面指導の大変さを推察しております。
- 指導では、状態に即した計画の見直しが必要であり、柔軟な対応も求められます。その実践の成果は、お便り・クラス通信を拝見しよくわかりました。
- 自己評価結果報告 概要にあります「評価結果及び改善策」が次年度に活かされるように期待します。
- 保護者との信頼関係は、園の教育理念の具体化と指導の一貫性が大切であろうと思います。子どもの変容を共に喜びとすることがお互いを近づける基であろうと思います。
- 自己評価結果・観点から達成度を振り返り、改善策等よくできていてとても感心しました。

沢山のご意見を頂き、職員一同真摯に受け止め保育に活かせるよう努力いたします。アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、学校評価を行っていただきました皆様、誠にありがとうございました。